

公認会計士法友会会報

公認会計士法友会

第38号

令和7年8月発行



定期総会・会員研修会・懇親会開催のお知らせ

(日時)令和7年9月1日(月)

16:40 受付開始 / 17:00 定期総会 / 17:20 会員研修会 / 18:30 懇親会 / 20:00 解散

(場所)法政大学 市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー26階「会議室A」

(会員研修会)

演題「会計専門家のためのワインテイスティング(財務分析との共通性)
—イタリワインと複式簿記の起源—」

講師 川島 健司 教授(高度会計人育成センター長・経営学部 教授)

(会費)公認会計士及び会計士補 10,000円(予定) / 試験合格者 5,000円(予定)

参加の連絡をいただ
いていない
方は、右の
QRコードを
読み取っ
ていただ
き、入力をお願いいたします。



目次

会長挨拶	2	令和6年度定期総会議案等の概要	14
雑感	6	会員研修会報告	15
経営学部・経済学部進学者の二高3年生対象イベント	7	会費等納入の御礼	15
令和6年度公認会計士試験合格者の近況	8	校友会終身会員所属変更	15
令和6年度公認会計士試験合格祝賀会開催報告	10	Books !	16
一般社団法人法政大学校友会の活動状況について	12	編集後記等	16
友好団体等への参加報告	12		

会長挨拶

会長 太田 莊一(昭和52年卒)



盛夏の候、公認会計士法友会の会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。

本年度も全国の会員の皆様から、会費と寄付金のご芳志を賜り、誠にありがとうございます。会員各位の多大なるご支援に本当に感謝に堪えません。

おかげ様をもちまして、法政大学の内外における公認会計士法友会のプレゼンスを何とか維持できているのも、会

員の皆様方のご賛同とご協力の賜物であると、役員一同を代表いたしまして、深謝申し上げます。

法友会の目的である『会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する』に基づき、新しい若い世代の会員への橋渡し役になるべく、河西事務局長はじめ、役員諸氏の精力的なご対応と協力を受けながら、なんとか会長を務めさせていただいております。引き続き、会員の皆様からのご指導ご鞭撻のほど、なにとぞお願い申し上げます。

今回も、この半年間のイベントについてのご報告と、これまでの法友会活動を振り返って、今後の方針等、雑感を述べさせていただきます。

【令和6年度公認会計士試験の合格状況と受験生の拡充支援について】

●令和6年度の法政大学出身者の公認会計士試験の合格者は、47名(現役学生14名、卒業生33名)ということで前年度より9名増で、全国大学別合格者ランキングでは、昨年同数同順位であった一橋大学、立命館大学と僅かの差で第11位ということで、箱根駅伝同様、トップ10シード権？は逃しましたが、毎年、現役学生は相当数の合格者を輩出し、特に3年生からの合格者が今年も4名もいるのは、指導にあられた先生方や高度会計人材育成センターの関係者のご尽力と合格者の皆さんの努力の賜物かと思えます。更にも、今年も卒業生からの合格者、それも、法学部や文学部といった種々の学部出身の方が多く合格されました。卒業後に受験勉強を継続された(あるいは始められた)皆様のご努力に敬意を表したいと思います。

今後益々の合格者の増加により、来年度はさらに上位入りを期待いたします。

(今回も合格者の皆さんのご氏名を掲載したいと思います。祝賀会当日に配布しました式次第に掲載されたものです。下記の【令和6年度公認会計士試験合格者】をご覧ください)

●合格者数を大幅に伸ばしている大学別合格者数ランキング上位の大学(次ページの【令和6年度公認会計士試験 出身大学別合格者数(トップ10)】をご覧ください)においては、付属校と大学との連携により、高校生のうちから公認会計士試験合格のための教育課程や職業啓蒙活動が進んでおり、特定の付属校においては高校生の時から公認会計士試験合格を目指して受験勉強をスタートさせているとも聞い

【令和6年度公認会計士試験合格者】

氏名	学部	卒業年在学年	氏名	学部	卒業年在学年	氏名	学部	卒業年在学年
青木 祐太	社会	2022	酒井 秀輔	経営	2022	橋隅 さき子	生命科学	-
青山 輝	経営	4	坂田 萌寧	経営	4	長谷川 航太	キャリアデザイン	2021
穂村 佳帆	理工	2020	佐野 聖時	経営	3	原 祐介	経営	2021
芥川 美紗希	キャリアデザイン	2023	杉橋 友	経営	2023	半澤 玲実	経営	2023
浅井 紘太郎	経営	2020	鈴木 奏大	法	4	藤代 浩輔	情報科	2019
五十嵐 健太	経済	2020	鈴木 侃汰	経営	2023	藤野 敦紀	経営	4
池口 雄基	法	2022	竹之内 あかり	経営	4	古川 桃子	経営	2019
一条 凜	社会	2023	田村 海翔	経営	2023	松井 海人	スポーツ健康	4
内田 光	経営	3	土田 好浩	経営	4	松山 舜祐	経営	2024
大欠 龍星	経営	2023	殿岡 連	法	4	南河 竜成	経営	2019
神尾 拓也	社会	2018	友清 真紀	経営	4	森 夢士	経済	3
草間 健斗	経営	2024	長島 亮太	経済	2021	森重 晴稀	経営	2022
桑名 孝拓	経営	2024	永田 雅富	経営	4	屋成 悠喜	社会	2024
高山 大誠	経営	2024	中田 裕介	経済	2022	山下 慶太	スポーツ健康	2017
小西 幸之輔	法	2022	中野 圭祐	法	2022	渡部 雄太郎	経済	2023
木幡 裕輔	経済	2016	西 航平	経済	3			

ております。法政大学においても、現在、法政大学中学高等学校(旧一高)では、正規の選択授業として「簿記・アカウンティング」受講者が毎年増加しており、大学進学後の合格者の増加に繋がっていると伺っており、今回、法政大学第二中学高等学校において、公認会計士制度(職業の魅力と受験)説明会を開催しております。(詳細は後掲の「経営学部・経済学部進学者の二高3年生対象イベント」をご参照。)これらの取り組み好例を法政国際高校(旧女子校)他の付属校にも拡充することを大学に提案推進し、当会においては公認会計士の職業の魅力を開蒙する活動を拡充したいと考えています。

●令和7年1月25日に令和6年度公認会計士試験合格祝賀会を今年も薩埵ホールにて開催し、多くの合格者に出席いただき、全員から一言ずつ挨拶をいただきました。(詳細は、後掲「令和6年度公認会計士試験合格祝賀会開催報告」をご参照。)

今年の合格祝賀会も、多くの当会の若手会員に参加いただき、同日に開催しました会員研修会の講師を三浦太会員(1985年経営学部卒)をお願いして「スタートアップ・ベンチャーの経営強化のやり方」と題して多くの上場支援実績の経験を交えて語っていただきました。今後もより多くの若手会員の参加を促進するための研修やイベント等を企画していきたいと思っております。

●令和7年6月24日に開催された日本公認会計士協会東京会主催の「公認会計士制度説明会」(リアルタイムオンライン開催、高度会計人育成センターと共催)においては、今回の合格祝賀会にも出席された昨年度合格者の友清真紀さんが、本学の学生に対して、自らの合格体験談を熱く語っていただきました。受験勉強での心構えや公認会計士を目指した理由等の実感のこもった話に対して、聴講された学生(付属校の高校生を含む)からの多くの質問にも的確にお応えされており、非常に手応えのある説明会で良かったと思えます。

このような会計士制度説明会(若手会員の合格体験談や現況の紹介を含む)は、今後も、高度会計人育成センターと協力して(できれば次回は各キャンパスに於いて対面での)開催の機会を増やしていきたいと思っております。

●この「制度説明会」には、大学OB・OG会の代表として太田と共に若手会員の若杉七海さん(2022年経済卒)に参画

いただき、法政大学出身の公認会計士として(特に女性会計士)の活躍の状況、特に、現在、社内会計士として活躍する若杉さんからは「興味のある事業会社へのポジティブな転職」についての公認会計士の魅力を、経験を踏まえて語っていただきました。これは、現在就職状況が好調な中でこれから受験勉強を始めようとする一般学生に対して、非常に大きなインパクトを与えたものと思います。(詳細は、今回若杉さんから寄稿いただいた後掲の「雑感」をご参照。)

●また、公認会計士法友会からの受験生に対する「奨学支援金」についても大学側から紹介がありました。

法友会「奨学支援金」制度は、毎年、高度会計人育成センターが主催する学内簿記チャンピオン大会成績優秀者に受給資格証を付与し、短答式試験の受験を条件に用途を専門学校の受講費用の充当に限定して5万円を給付するものです。

これまでの給付実績は、2016年度から2022年度までの7年間合計で35名の受給権付与者の内25名が受給し、うち短答式合格20名、最終合格者が現在までに16名出ているということで、受給した学生の合格者数及び合格率は着実に高い結果が出ており、支援のし甲斐があるということで一同、喜んでおります。

法友会としてはこれを継続し、さらに拡充していきたいと考えておりますが、この原資として会員の皆様からのご寄付浄財が不可欠であります。なにとぞ皆様のご支援ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

(後記のとおり、会費の納入者が年々減少しており、それに伴い年度寄付金も暫減しております。合格祝賀会や会員総会時に出席者から徴収しております「会費」はそのほとんどが懇親会費用に費消されており、会務運営や奨学支援金の原資拡大のためには、別途に、皆様からのご寄付ご芳志が必要である現況であることをご理解いただければ幸いです。)

【「和食基金」の創設と高度会計人育成センターとの連携について】

●後掲の今年度の法友会決算報告案において特筆すべき事項として、2025年2月に和食克雄顧問より、特別寄付金として200万円の収受がありました。

これは、法政大学からの公認会計士試験合格者の今後益々の拡大のために活用してもらいたいというご意思に基づき、法友会としてはこれを一般会計とは別に特別会計の

【令和6年度公認会計士試験 出身大学別合格者数(トップ10)】

1位	[1位]	慶應義塾大学	171	[165]	7位	[8位]	神戸大学	54	[44]
2位	[2位]	早稲田大学	131	[128]	8位	[5位]	同志社大学	52	[56]
3位	[3位]	明治大学	81	[101]	9位	[9位]	立命館大学	50	[38]
4位	[6位]	中央大学	63	[55]	9位	[9位]	一橋大学	50	[38]
5位	[4位]	東京大学	60	[56]	11位	[9位]	法政大学	47	[38]
6位	[7位]	京都大学	55	[50]	12位	[13位]	関西学院大学	29	[32]

[]は前年度順位及び人数

他大学の人数は日本公認会計士協会提供データを基に当会にて調査

「和食奨学基金」として収支管理し、その用途活用について検討するとともに、この趣旨に賛同する会員の皆様に、同「基金」へのご芳志をお願いしたいと考えております。

諸先輩方をはじめとする篤志家の皆様には、新年度以降にあらためてご案内をお願い申し上げますので、なにとぞ協力のほどお願いいたします。

●これまでいろいろとお世話になっております経営学部教授の川島健司先生がこのたび高度会計人育成センター長にご就任されました。

先般、今後の方針等について当会との打ち合わせ会を行ない、HAPPの今後の方向性が当方の認識と合致していること、また当方からは、大学は、学習環境の支援及び各種奨励金等の経済的支援等については、現状、在校生に限定されているが、これらを卒業生に対しても拡充し、講座室の学習環境や情報交換の機会等の支援と短答式試験合格奨励金の支給(これには原資として前述の「和食基金」を充てることも含めて)等の経済支援の両面についてご検討いただきたいことを要望として申し上げます。

●今後もこれらを更に継続拡充して、高度会計人育成センターと協力して、本学からの受験生の拡充による合格者増加のための諸施策(付属校の高校生への会計士の職業の魅力紹介や会計士試験合格への啓蒙活動の推進、更に、卒業生受験生も聴講できる「実務の最前線での実践的なテーマでの寄付講座」の開講への支援等)を促進していきたいと思っております。

これらの活動が近い将来、後進の会員各位がそれぞれの得意な専門分野や出身高校毎に対応できるよう、そのレーンを敷設することが現役員体制の使命と考えます。

【定期総会の開催と役員改選について】

●さて、今年度(9月1日(月)開催予定)の公認会計士法友会の定時会員総会においては、役員改選期になりますが、現役員の皆様にはそれぞれの役割を大変精力的にご対応いただいておりますので、誠に恐縮ですが、今回も基本的に継続(留任)をいただき、今年度中に、会長等の役員の推薦と選任手続の会則改正を行ないたいと考えております。そこで、現役員体制をさらに増強し、もう一段の若返りを図るため多くの若手役員を登用したうえで、次の新会長体制に引継ぎをしたいと考えております。

引き続き、皆様方からのご意見やアドバイスをいただければ幸いです。

【法政大学校友会・法政士業の会における大学への貢献活動の参画について】

●一般社団法人法政大学校友会終身会員登録の拡充促進については、今般、校友会において、卒業生が卒業後すぐに各パートナー組織の終身会員となることできるようになりました。該当する若手会員の皆様には、早速に当会への所属変更手続ご対応いただき、ありがとうございます。今回、手続いただいた会員のお名前をP.15に記載させていただきました。まだ手続き未了の方は、ご協力のほどお願い

いたします。(大学のHPから卒業生校友会のHPご参照。)

●本学の法学部における一般学生向けの授業「法律実務入門」の講義第9回『公認会計士の職務と役割』に講師として和食克雄顧問が、補助アシスタントとして太田が陪席いたしました。これは、弁護士をはじめとする法律関係の実務家が学生に対して法律各分野や各士業の職務と役割を実務に即して講義するもので、法律を学ぶ学生のキャリア形成に役立つ授業として長年継続されているものです。

これまで経営学部での寄附講座や高度会計人育成センターを通じて、公認会計士の職業紹介や各業務分野の講義や会計士制度説明はいろいろな形で実施してきましたが、法学部学生に対しても継続的に実施できるようになったことは、私共としては非常に意義あるものと考えております。これも昨年お亡くなりになりました故金子征史先生のおかげかとあらためて深く感謝申し上げる次第です。

本講義は、次年度以降も、太田のほうで講義担当させていただきますことになっておりますが、是非、法学部出身の中堅若手会員にも登壇いただきたいと考えておりますので、会員各位におかれましては、是非とも積極にご協力のほどお願いいたします。



【個人的な近況報告】

●以上のように、私たちは法政大学から多くの公認会計士が輩出されることを期して活動していますが、学生時代に同じ志をもって一緒に勉強した仲間の全員が合格して同じ業界にいるわけではありません。途中で別の進路をとった方も立派な社会人として活躍されています。先日、後輩会員の

担当する上場会社の監査役が法政出身だということで、詳しくお聞きしたところ、何と私と大学1年生の時に「商学研究会」の修善寺合宿で同じ班の同級生であったことがわかり、52年前の旧交を深める機会ができ、更にその合宿時に二人の写っている写真を、当会の飯塚さん(当時の4年生)が保存管理されていることに、また吃驚しまして、お互いの半世紀の時間空間を超えるひとときを過ごしました。

(その写真の一部です。さて私太田はどこに？いますでしょうか。)



●前号でも報告しましたが、私儀、この3月末をもって、2期8年務めさせていただきました法政大学監事を任期満了で退任いたしました。在任中には皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。後任の新監事には、当会で長年にわたり貢献されておられます小野隆良会員(1979年卒)が就任しました。引き続きご支援よろしくお願いたします。次号では、小野会員より大学の現況報告等をご寄稿いただければと思いますので、よろしくお願いたします。

●本年4月以降、48年前にこの業界に入って初めて、5月連休ゴールデンウィークを業務の憂いのない休日(といっても長年の慣例でどこにも行きませんが、)を過ごしました。それ以後も何もせずにいるのは「生涯現役」のモットーに反することから、6月に千葉県千葉市で開催された日本公認会計士協会千葉会の定期総会に(私は千葉県佐倉市在住ですが、これまで東京での業務や活動しかしてこなかったため、)初めての対面出席をしてみたいと思います。

千葉会では、当会の若手の牧野智成会員(2000年経営卒地元船橋市で開業中)が副会長を3期9年も務められて今回も再任され、今後も益々のご活躍が期待されます。懇親会では熊谷千葉県知事の面前で堂々と就任挨拶をされておられたのが印象的でした。(当会の会員各位の中には、数年前まで日本公認会計士協会神奈川県会会長をされておられた太田眞晴さん(1981年経済卒)や、同じく茨城県会会長を歴任された小林保弘さん(1976年経営卒)というように首都圏の公認会計士協会活動を通じて地域経済社会の発展維持に貢献されている会員各位が多くいらっしゃいます。)今度、牧野会員には、地域での会計士協会活動の紹介をお願いしたいと思います。

【大学の近況報告】

●さて、新年度、法政大学のトップの交代がありました。常務理事・副学長から長年にわたり大学を牽引してきた廣瀬克哉総長に代わり、この4月から、ダイアナ・コー新総長が就任されました(下記の写真)

4月6日の日経新聞掲載の記事を要約すると、「中国返還前の香港で育ち英国籍を持つ。145年の歴史がある法大で初の外国籍の総長として、入学式では「私もルーキー。法政らしい進取の精神を発揮して」と日本語と英語で呼びかけた。

英国領時代の香港で育つ中で階級や格差に関心を持ち、社会学を専攻。米スタンフォード大の大学院で研究に打ち込まれ、法大の研究員として来日したことが縁で教員となって26年。法政大学はグローバル化と多様性・公平性・包摂性(DEI)の推進を旗印に掲げる。副学長時代にはDEIに関する啓発や相談、支援を行う専門部署を設置して他大学の関心を集めているが、「授業は一期一会。研究より好きかもしれない」と語る。

(コー新総長の教育熱は旺盛なことは、私も監事監査で、GIS学部長から常務理事になられる間、何度かお話す機



会がありました、そのとおりだと思いました。」「かつて「蛮カラ」だった法大も今では女子学生や留学生が増えた。そんな新しいイメージの発信や、包摂や公平をよく知る新総長の手綱さばきが注目される。」とされています。

●今年の法政大学の学位授与式と入学式は、3月と4月にそれぞれ日本武道館に於いて挙行されました。(今年は、学位授与式に太田が、入学式には新監事の小野隆良会員が、それぞれ参席しました。)在学中に試験合格して社会に飛び立っていく卒業生、あるいは再挑戦する卒業生や、希望に目を輝かしている入学生を迎えて、校歌斉唱とエールは、やはり意気高揚します。「フー！フー！法政、がんばれー！がんばれー！卒業生と新入生」と。

【最後に】

昨今、経済界は人手不足で学生の売手市場の状況が継続しており、公認会計士試験受験を目指す学生も思ったようには増えませんが、今年も47名の試験合格者が輩出され、当会にも多くの新しい仲間が増えました。

今後も法政の学生からより多くの公認会計士を輩出するためにも、さらに、将来のある若い皆さんが生き活きとして集い結べる業界・魅力ある士業となるよう、法友会としてもまだまだやるべきことはたくさんあります。

今年度の定期総会も2025年9月1日(月)にボワソナードタワーで開催いたします。今回は川島健司先生をお願いをいたしまして、いつもとは趣向の異なる講演会と懇親会を予定しております。是非お楽しみにしていただき、毎年参加されています会員諸氏におかれましては勿論、しばらくご無沙汰しております会員の皆様にも是非ともご参集をいただき、「法政、我が母校♪」と声高らかに校歌をご一緒しましょう。「フー！！フー！！法政、ガンバレ！！ガンバレ！！法友会」

以上

雑感 母校での説明会登壇を終えて

若杉 七海（令和4年卒）



（鎌倉の明月院にて）

法友会の皆様、こんにちは。
2022年に経済学部を卒業した若杉七海と申します。今回は、会報誌に寄稿する機会をいただきましたので、自己紹介とともに、先日登壇した公認会計士制度説明会の感想、そして最近のプライベートについて少しお話しさせていただきます。

【自己紹介】

私は2021年3月に学生非常勤として大手監査法人に入所し、会計士キャリアをスタートしました。優秀なメンバーに囲まれて刺激的な日々を過ごしていた一方で、もともと数字を作る側に興味があったことから、2025年3月に監査法人を退職し、4月より事業会社の組織内会計士として勤務しています。

現在は、財務経理部門にてグループ全体の財務情報の取りまとめや決算業務に携わっています。以前は、監査法人の職員として会社の外から数字を監査していましたが、実際に監査を受ける側になるのは少し緊張する一方で、新鮮さも感じています。

また、転職と同時に都内で一人暮らしを始めたので、最近ではご近所散歩や、グルメ開拓を楽しんでいます。

【制度説明会への登壇】

先日6/24(火)に、附属校の高校生と大学生の皆様を対象に「公認会計士の魅力」についてお話する機会をいただきました。このような機会はほぼ初めてでしたので、未来への希望に満ちた学生の方々との向き合えたことは、私にとって非常に貴重な経験となりました。

説明会では、若手会計士の目線で、公認会計士の社会的な役割や魅力、そして私自身のキャリアについてお話ししました。質疑応答の時間には、会計士を目指した理由や勉強方法、さらには簿記の取得有無など、熱心な質問が多く寄せられ、学生の皆様の真剣な姿勢に心を打たれました。私自身、決して初めから公認会計士を目指していたわけではなく、先輩や講師方の話を聞く中で資格取得を志しました。今回の説明会が、少しでも学生の方々の進路選択のヒントになれば嬉しく思います。

【最近のプライベート】

最近「週末リフレッシュ」をテーマに過ごそうとしています。最近紫陽花を観に鎌倉へ行ったり、ミュージカル鑑賞や浅草に食べ歩きへ行きました。忙しい日々の中でも、ほんの少しのリフレッシュ時間があるだけで、気持ちが整うのを感じます。アウトドアは好きなので、今後新しい趣味もつけていきたいです。

また、友人との時間も大切にしています。前職の同期や資格予備校時代の友人と集まり、近況を語り合ったり、美味しいものを食べたり、旅行の計画をしました。お仕事の話だけでなく、趣味や旅行の話など、気兼ねなく話せる時間が心の栄養になっています。また、会計士の友人が様々なキャリアを歩んでいるのを聞くと、公認会計士のキャリアの幅広さを感じ、刺激をもらいます。

【最後に】

制度説明会での登壇を通じて、改めて「人に伝えること」の大切さを実感しました。学生の皆様の前で話すことで、自分自身のキャリアを振り返る良いきっかけになりました。今後はより多くの人に価値を届けられるよう、伝える力を磨いていきたいと考えています。

このような貴重な機会をいただいた太田様はじめ、法友会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後も、後輩の皆様のご成長を応援し続けたいと思います。そして、またいつか法友会の皆様とお会いできる日を楽しみにしています。



（友人に転職祝いとしてプレートを用意頂きました）



（熱海の海鮮丼です。お魚が新鮮でした）

経営学部・経済学部進学者の二高3年生対象イベント 先輩の公認会計士(CPA)と未来の世界を考えてみよう！

森口 輝来(平成11年卒)

2025年1月29日(水)に標記の題目で会計士制度説明会を実施しました。法政大学からの会計士合格者を増やすべく付属校へ訪問し、会計士という職業の魅力を伝え、会計士試験へのチャレンジを促すという取り組みになります。以前は会計士協会の神奈川県会からこのような訪問があったようですが、法友会としては初の試みとなりました。法友会から太田会長をはじめ、二高出身の越智副会長、内田さん(2024年の3年生合格者)、森口の4名、更に大学から高大連携を積極的に推進されている川島先生(先生も二高出身)が参加しました。当日は、朝の通学電車の遅れがあつて一部の生徒が遅れての参加であったにもかかわらず、経営学部進学予定者が66名、経済学部進学予定者が55名の計121名の生徒が参加してくれました。



初めに講演を終えての個人的な感想をお伝えしておく、私個人の想定では自分が高校3年生だったころを思い返し、取り敢えず聞いておくかぐらいの雰囲気か漂うのかなと思っていました。意外や参加した3年生は真剣な眼差しで熱心に聞いている生徒がほとんどで良い意味で裏切られました(講演終了後、我々の帰り際に追いかけて質問に来る生徒もいました)。

簡単に実施したプログラムもお伝えしておく。今回は全員が会計や会計士を知っている訳ではないのでそちらも踏まえて説明してほしいという二高からの要望もあり、「Ⅰ 会計って何だろう？ ザイムショヒョウって何だろう？」、「Ⅱ CPAの仕事とその魅力」を講演形式、その後、「Ⅲ 先輩たちはどうやって会計士試験に合格した？いま、何をやりがいにしている？」を川島先生の司会によりパネルディスカッション形式で実施し、最後に生徒たちからの質問タイムとなりました。

Ⅰは私のパートでしたが、生徒たちにとっては、おそらく初めて接する専門用語が多く大変だったと思いますが、ある

上場企業のHPIにアクセスして、実際の有報を見てどこにどのような情報があるのか見たりしながら進めたこともあり、真剣に沢山のメモを取っている様子が伺えました。続くⅡでは越智副会長が会計士の社会的意義や女性活躍、人気就職先ランキングなどを用いて会計士の魅力を伝えることに加え、実感を踏まえた給与面での話を伝えると生徒たちがザワついていました。その後のⅢでは、太田会長より会計的視点や昨今の時代背景から基礎学力(特に数学と英語の大切さ)を高めることの大切さ、越智副会長からは自分のことは自分自身より他人の方が分かっていることがあるので傾聴することの大切さ、更に内田さんからは直近合格者ならではの体験に基づく合格までの必要勉強時間や取組姿勢を熱く語ってくれたこともあり最後は自然と拍手が起きるほど生徒の心をつかんでいました。加えて川島先生より二高ならではの人のつながりや部活動で培った集中力が試験にも生かせるといったアドバイスやこのような取り組みから付属校生は早いスタートが切れるというメリットを聞いて一段と真剣な眼差しになっていた様に感じました。

今回の反応を踏まえ、法友会として来年度以降も付属校(二高に限らず、法政高、法政国際高も)への訪問を続けていきたいと思っておりますので、付属校出身の方をはじめ、この取り組みに参加されたい方は事務局まで是非、ご一報いただければと存じます。



令和6年度公認会計士試験合格者の近況

合格者に近況を報告していただくコーナーです。

●古川 桃子(令和元年卒)

<ご挨拶>

法友会の皆様、初めまして。法政大学経営学部 2019年卒業生の古川桃子と申します。この度はこのような機会をいただきましたこと、大変ありがたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

<これまでの経歴>

私が公認会計士を目指したのは社会人になってからです。新卒の就活では、「専門性とソフトスキルの双方を身につけ、仕事の付加価値を高められる人材になりたい」という想いから、幅広い領域で高い専門性を持つ信託銀行への入社を決めました。新卒から昨年7月まで、約5年間在籍しましたが、株主名簿に関連したレポート作成やシステムの開発・導入など様々な業務を経験させていただきました。

特に印象的な業務はITを活用した業務効率化施策です。入社当初は入社前提の運営だったため、他部門への依頼は紙でのやりとりが基本、また属人化された業務も大量にありました。しかしコロナを経て新たな働き方が提唱され、効率的かつ標準的なフローを目指す運営改革が行われました。プロジェクトを進める上では、関係者との折衝に難航することや想定外のシステムエラーにも悩まされましたが、自身の課題認識から解決策の検討・実現まで一気通貫で携われた経験は自身にとって大きな糧になっています。

<公認会計士を目指した理由>

公認会計士を目指した理由は、「専門性を武器にキャリアを形成したい」という想いを抱くようになったからです。前職では弁護士やアナリストの方が多く在籍しており、スペシャリストとして高度な業務に取り組まれている姿に憧れを抱きました。数ある職種の中でも、公認会計士を選んだ理由は2つあります。1つ目は、簿記の学習経験があったこと。大学で「簿記入門」を受講したことをきっかけに、簿記2級を在学中に取得しました。資格取得は講義の小テスト対策がきっかけでしたが、勉強を進めるにつれ、パズルがハマるような感覚に面白さを感じるようになりました。2級取得後は1級や公認会計士の資格取得までは目指していませんでしたが、簿記の基礎を学んだ経験は公認会計士の勉強を始めるハードルを下げたように思います。2つ目は会計の汎用性の高さ。会計スキルはどの業種においても必要不可欠な要素であり、ITや語学など、他のスキルと相性も良い分野です。資格を基点に働くとしても、公認会計士の資格であれば、これまでの経験も最大限活かしながら働けるのではと考え、受験を決意しました。

<監査法人での業務>

2025年2月より、有限責任あずさ監査法人で働いています。入社後1か月は、所属事業部ごとの研修で監査の基礎やビジネススキルを学び、3月からは実際のチームで、仕訳検証や物件往査、開示チェックなどさまざまな業務に携わらせていただきました。単純作業にとどまらない実務も多く、受験生時代に学

んだ知識が実務で活かされたときには、「学びが現実に繋がった」と実感でき、さらに知識を深めたいという成長意欲が湧き上がりました。

一方で、適正かどうかを判断するために必要な追加資料の見極めや、どの範囲までヒアリングすべきかなど、学びの段階では気づかなかった複雑さや例外が実務の現場には数多く存在することも痛感しました。今後は、知識と経験の両面を高めながら、チームやクライアントにより深く貢献できるよう成長していきたいです。

<プライベート>

試験合格後は、友人との旅行や趣味のクラシック鑑賞、ランニングなど、受験期間中にはできなかったことを存分に楽しんでいます。この夏は2週間ほどお休みをいただき、韓国とタイへの旅行を予定しています。ここまでの長期休暇は、社会人になってから初めてです。繁忙期にはどうしても残業が増えますが、オンとオフをしっかりと切り替えられる働き方ができる点は、監査法人ならではの魅力だと実感しています。

また、監査法人では一堂に会して研修を行う機会も多く、同期同士のつながりも自然と深まりました。入所前は、年齢や経歴がさまざまであったことから、正直なところ、仕事上だけのドライな関係になるのではないかと感じていました(笑)。しかし実際には、一同期としてフラットな関係を築くことができ、バックグラウンドの違いによる垣根はまったく感じません。今では、仕事上の相談やプライベートの些細なことまで話せる、気の置けない友人もいます。入所前には想像していなかった、うれしい誤算です。

<おわりに>

法友会の皆様、先般は合格祝賀会にお招きいただき誠にありがとうございました。

まだまだ未熟者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



(左) 前職の同期との食事会。退職後も定期的に会う大切な友人です。



(右) 大学時代の友人にお祝いしてもらいました。

●鈴木 侃汰(令和5年卒)



<ご挨拶>

法友会の皆様、初めまして。法政大学経営学部 経営戦略学科を卒業し、現在はEY新日本有限責任監査法人で働いています。鈴木 侃汰と申します。今回、法友会の試験合格者の近況報告をさせていただきます。同じ法友会の一員として、今後、関わる機会があるときは、どうぞよろしくお願いいたします。

<会計士試験について>

私が、公認会計士を目指し始めたのは、大学1年生の秋の頃でした。当時、私は、法政大学を入学してすぐに大学の簿記2,3級の講座を受講しました。その時は、公認会計士を目指すどころか存在すら知りませんでした。ですが、その講座の先生が公認会計士であり、授業の合間に公認会計士についてのお話をしてくれました。公認会計士は会計、監査の専門家であること、多くの会計士は監査法人に入社することなどを聞いているうちに、会計士に興味を持ち始めました。特に、会計士は収入に恵まれているため、先生が海外旅行に行った話など贅沢な話をいつも楽しく聞いていました。

目指したのは良いものの、公認会計士試験に合格するまでにとても長い時間がかかりました。自分は短答式試験に4回落ちました。管理会計が苦手で、他の科目単体では合格点を取れていても、管理会計の点数がとても低いため全体では合格に届きませんでした。大学在籍中に、公認会計士試験に合格することが出来なかったため、公認会計士になることを諦めて、就活をして、一般企業に入ることも考えましたが、親に大学を卒業した後も、金銭面を支援すると言われ、勉強に集中することが出来ました。大学卒業時点では、短答式試験も受かっていなかったため、これから受かる見込みもわからない状況の中、支援してくれた親にはとても感謝です。

また、受験友達にもすごく恵まれました。友達は自分より早く合格し、監査法人で働いていました。予備校に来なくなった後も、会おうと言ってきて、とても良い気晴らしになりました。居酒屋のお代を奢ってくれたりもして、とても感謝しているとともに、会計士になると、そんなに稼げるのかと勉強のモチベーションが高まりました。

<現在の仕事について>

現在は、EY新日本有限責任監査法人のスタッフとして働いています。自分は監査法人の就活中に、法人の情報を集めているうちに、IPO監査について、興味を持ちました。IPO監査のクライアントの中には、まだ、あまり世間に普及していないサービスを提供するところもあり、そのようなクライアントの監査を通じて、新しいサービスを知っていくことがとても面白そうだと感じました。EYの就活中に、自分はIPO監査に関わりたいという要望を法人に伝え、その希望を通していただき、現在は、IPO監査

のコアメンバーとして関わっています。クライアントはとても珍しい事業を行っており、上場企業の監査では得られない経験をさせてもらっています。

監査法人で働いてみて、自分は、とてもメリハリのある環境だと感じました。4.5月の繁忙期を経験しましたが、正直とても大変でした。担当する調書の量が多く、期限ギリギリで終わらせることが多かったです。しかし、自分が大変な時は、先輩が自分の分担の調書を代わりにやってくれたりもしてかなり助けられました。繁忙期が過ぎてからは、定時で上げられることも多く、その変わりようにびっくりしました。8月には夏休みもあり、長期休暇が取れるため、繁忙期で頑張った分、その後に長い休みが取れるというメリハリのある環境が自分はとても良いと思いました。

<プライベートについて>

入社してからプライベートは、同期と何かをすることが多いです。先日は、同期と年次が一つ上の先輩たちとでボーリング大会がありました。一番スコアが高い人には旅行券が与えられるなど景品が用意されていて、とても緊張感があり、楽しかったです。他にも、4月には、同期でお花見をしたりもしました。代々木公園でお花見をしたのですが、かなり人気のお花見スポットであるため、場所の確保が大変でした。同期20人がくつろげるスペースを確保するために、朝4時に代々木公園に場所取りをしてくれた同期がいて、かなり体を張ってもらいました。同期の仲はかなり良いため、今の環境にはとても満足しています。



<終わりに>

今後も、EY新日本有限責任監査法人の一員としてだけでなく、法友会の一員として公認会計士の道を進んでいきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

令和6年度公認会計士試験合格祝賀会開催報告

事務局より

令和7年1月25日(土)、公認会計士法友会主催による『公認会計士試験合格祝賀会』を市ヶ谷キャンパスの外濠校舎6階薩埵ホールで開催しました。

今年度の公認会計士試験では、47名が合格(学部卒業生:33名、学部在學生:14名)しました。

祝賀会は、廣瀬克哉総長をはじめ、日本公認会計士協会の茂木哲也会長、大学常務理事、後援会、校友会、同窓会及び士業の会の役員、学部長、担当教授などの大学関係者、公認会計士のOB・OG、約120名が出席し、盛大な会となりました。

太田会長からは、近年の合格者数、大学別ランキングに触れながら、来賓の方々からいただく激励の言葉を心に刻んで、今後の会計士人生を送っていただきたい、と激励の言葉を述べていました。

廣瀬総長からは、先輩方は皆さんにとってすごく大事な資産であること、会計士というのは広く社会全体に対して責任を持って仕事をして行く専門職であること、会計士は専門家として社会から信頼される存在であり、会計士としての皆さんは社会に対して責任を果たしてくれる存在であると認められている、ということ胸に刻んで、これから何十年にわたって公認会計士としての仕事を続けていっていただきたい、と激励の言葉を述べられていました。

茂木会長からは、これから先、公認会計士試験以上のハードルがたくさんあると思うが、そんな時、皆さんを一番力強く支えてくれるのは、ここにいる皆さんであり、支えてくれるという安心感を持ち、また、安心感があるからこそ、新たなフィールドに一步を歩み出せる、みなさんの周りには本当に広いフィールドがたくさんあるので、新たな道へ一步一步進んでいこうように欲しい、と激励の言葉を述べられていました。



岸 牧人教授の乾杯の後、懇談・記念撮影を挟み、「法政大学後援会賞」の表彰ならびに会長ご祝辞、「法政大学校友会賞」の表彰ならびに会長ご祝辞が行われ、合格者全員からの一言をもらいました。



最後は、応援団・チアリーディングによる演舞での校歌斉唱、三浦副会長による挨拶で中締めとしました。



一般社団法人法政大学校友会の活動状況について

一年度同期会からの移籍制限の解除ー

飯塚 昇(昭和49年卒)

(法政大学校友会監事)

法政大学校友会は、一般社団法人に移行して12年目となり、竹中宣雄会長のもとで執行部による校友会運営全般の見直しが行われております。

その一つに、年度同期会からのパートナー組織への移籍制限(5年間)の解除があり、令和6年7月以降、卒業後は希望するパートナー組織への移籍が可能となりました。

私ども法友会は、年度同期会に所属する公認会計士試験合格者に対して移籍を働きかけました。

ご対応いただいた方々には感謝申し上げますとともに、移籍

の手続きを取られてない方々には、是非ともご協力くださるようお願い申し上げます。

さて、この年度同期会からの移籍で、1年間に200人を大きく超える終身会員数の増加となった「応援団OBO会」の絆の深さ、団結力はさすがというほかはありません。

私ども法友会は、公認会計士という会計プロフェッショナルの集まりであり、同様の職業倫理感や価値観、社会貢献意識を持つ集まりですので、是非、年度同期会から法友会への移籍に、ご理解とご協力をお願いする次第です。

友好団体等への参加報告

● 大学院ワークショップ

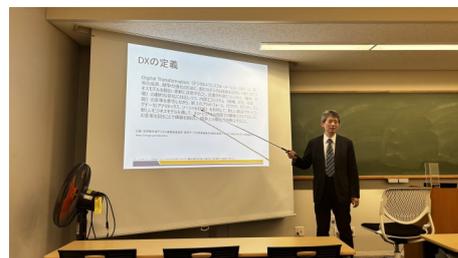
① 河西正之(平成元年卒)

2024年12月5日、川島先生からの依頼で、大学院ワークショップを行いました。受講者は、上場企業経理・戦略の担当者、社会福祉法人理事、経営学部の大学生2名の合計4名でした。

テーマは「会計・監査のDX」で、対象領域としては「会計・監査」に絞り、簡単な演習問題も用意しました。演習問題は、事務用品の商社を前提とし、システム関連図とそれぞれのデータベースで持っている項目を提示して、顧客毎の採算分析を行うための資料を作成するためには、どのシステムのどのデータベースの項目を使えばよいか、というものです。10分ぐらい考えてもらってから、解説を行いました。

最後は、DXを脅かすサイバー攻撃と、おまけに近年話題の生成AIにちょっと触れて終わりました。

質疑応答では、社会福祉法人の方から「どのように分析をすればよいか悩んでいる」といったことや、学生、川島先生からも質問がありました。なんとかやり切れました。



② 伊藤章子(平成16年卒)

私は2024年12月12日に「社外監査役の実務」と題した講義を行いました。講義時点で4社の社外役員を務めており、実際に行っている監査活動や、心掛けていることについてお話ししました。女性であり、公認会計士・税理士という立場から選任されていることも踏まえ、会計監査人や内部監査部門との連携、女性管理職との意見交換に特に力を入れている点や、内部通報窓口を担当している事例なども紹介しました。心掛けていることとしては、いつでも辞任する覚悟を持ち、経営陣に言うべきことをきちんと伝えるために金銭的に依存せず、本業で稼いで知見を深めること、女性役員やCFO、経理担当者と信頼関係を築くよう努めていることなどもお伝えしました。講義後、川島先生から「監査役の実務のリアルを初めて知った」、「社外から支える視点が新鮮だった」との感想をいただき、私自身も自分の役割を見つめ直す良い機会となりました。



③ 三浦 太(昭和60年卒)

2025年1月9日に法政大学大学院経営学研究科会計・ファイナンス専攻の学生のみなさん向けに、大学院授業「ワークショップ」として、『スタートアップ/ベンチャーの経営強化～持続的成長のための“次の一手”の考え方～』と題した授業を実務家講師(ゲス

トスピーカー)という肩書きで担当させていただきました。スタートアップの事業展開の全容や資本市場の現状と実務動向などをお話しました。

市ヶ谷キャンパス・大内山校舎6階のY604教室で夜授業でした。少人数ではありましたが、皆さん終始真剣に聴講いただき、終了後も各自から数個ずつ質問があり、実際に企業経営をしている社会人学生からは、自社のケースに当てはめ実践的な質疑応答ができ、私のほうも大変良い機会を得たと感じました。

川島先生からは、今回の学生の年次で会計・ファイナンス専攻の大学院は募集を停止するとお聞きし大変残念な想いをもちました。ただし、川島先生としては法友会の協力の下で、大学の学生向けカリキュラムをまた復活させたい構想もあるようですので、当会の会員が講師を務める機会があると思いますので、みなさまの英知を結集して大学に協力していければと思う次第です。

以上、ご報告させていただくと共に、私自身も大変勉強になりました。

●オール法政新年を祝う会 渥美 龍彦(昭和58年卒)

ここ数年、公認会計士合格祝賀会の翌日が、法政大学校友会「オール法政新年を祝う会」の開催日となっています。今年も祝賀会翌日の1月26日(日)、「持続可能な社会を実現するために『価値』を想像し、未来を繋ごう」をテーマに、例年と同じグランドニッコー東京台場「パレロワイヤル」にて、2025年「オール法政新年を祝う会」が開催されました。

第一部では、「教育現場での『価値』を創造し、未来に繋ぐ」「学生支援社会連携事業での『価値』を創造し、未来に繋ぐ」ご講演、第二部では『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』で第47回日本アカデミー賞優秀監督賞を受賞された成田洋一監督への「法友会『価値』創造賞」贈呈と監督からのご講演がありました。ダイアナ・コー法政大学次期総長の乾杯で祝宴に移り、応援団演舞、「頑張れ！法政スポーツ」の紹介、最後は約800人の出席者全員で校歌を斉唱しました。

閉会后、いつものように法政士業の会の面々で記念写真を撮り、会場を後にしました。



●日本大学桜門会計人会 河西正之(平成元年卒)

2025年2月12日、日本大学桜門会計人会の定期総会、新春懇談会、合計祝賀会に飯塚副会長とともに参加してきました。総会と祝賀会を同時に行うのは珍しく、他には慶応の三田会ぐらいかなと思います。

合格者は14名で祝賀会参加者は8名でした。会長の挨拶に始まり、学長の祝辞等と続きました。学部長の祝辞が法学部、経済学部、商学部の順番だったので、法政の感覚からすると違和感があったのですが、出席者の出身学部をみるとなぞけました。法学部3名、経済・商学2名でした。

その後は、懇談、記念品贈呈と続き、途中、合格者のじゃんけん大会を挟んで、最後は三本締めでお開きとなりました。



●公認会計士三田会 河西正之(平成元年卒)

2025年3月26日、公認会計士三田会の懇親会に太田会長とともに参加してきました。三田会では、新人歓迎会と同時開催ですので、新人も参加しています。2024年11月の合格発表では合格者171名を出していますが、参加者はそんなにいない印象を受けました。

時間通りに到着したものの、既に始まっており、日本公認会計士協会の茂木会長が挨拶をされていました。その後、三田会会長が柳澤義一さんに交代となった旨の報告があり、乾杯、懇談となりました。



令和6年度定期総会議案等の概要

事務局より

令和6年度の定期総会を対面で9月1日に開催予定です、報告事項、決議事項は以下の通りです。

●報告事項

1.会員数の推移、2.定期総会及び懇親会、3.法友会活動の活性化、4.会員研修会、5.公認会計士試験合格祝賀会、6.会報、7.会員名簿の発送と更新、8.法友会のプレゼンスを高める活動の推進、9.法政士業の会との連携、他大学の公認会計士会との交流、10.オール法政ゴルフ大会「総長杯」及びCPAゴルフ「十月会」、11.会費納入状況、12.収支報告、監事監査報告の13項目について報告を行います。

●決議事項1「令和7年度事業活動計画及び予算案」

1.定期総会及び懇親会、2.法友会活動の活性化、3.会員研修会、4.公認会計士試験合格祝賀会、5.会報、6.会員名簿、7.法友会のプレゼンスを高める活動の推進、8.法政士業の会との連携、他大学の公認会計士会との交流、9.法友会ゴルフコンペ、オール法政ゴルフ大会「総長杯」及びCPAゴルフ「十月会」、10.会費納入状況と改善方策の検討、11.その他、12.予算案について、審議・決議を行います。

●決議事項2「役員を選任の件」

役員全員が本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、法友会会則第8条により会長、副会長、幹事、監事の選任をお願いするものです。

また、若手会員のより一層の活動への参加を促進することから、若手の役員4名の登用を進めています。

●決議事項3「和食奨学基金」の設置(特別会計)とその活用方法」

昨年度に和食顧問から特別寄付金として2百万円をいただきました。役員会にて、和食顧問の意向を確認し、用途及び会計について検討を行いました。結果、名称を「和食奨学基金」とした特別会計を設置し、用途は、後進の育成、特に卒業生の受験生に対する支援のために充当することとし、支出の都度、役員会にて審議決定します。

●決議事項4「会則変更の件」

現在の会則では、役員候補者の選任方法が明確になっていないため、今後の会務運営を行っていくうえで、明確にしておくべきと考えて、明文化します。また、会務活動の拡大に伴い、副会長の人数を増やすこととしました。

審議事項3で特別会計を設置することとしましたが、会則には特別会計の規定がありませんので、規定する必要があります。

これらを受けて、所要の変更を行います。

※決算・予算概要

令和6年度も、多くの会員の皆様から会費・寄付をいただきました。ありがとうございました。

なお、この決算・予算には特別寄付金2,000,000円を含めていません。

①収入関連

令和6年度は、定期総会、合格祝賀会の参加者は予定に達し、また、年度会費等については、前年比で増加しました。令和7年度は、合格祝賀会については、参加費の値上げを検討しています。

②支出関連

総会・祝賀会開催費用は、令和6年度は、昨今の値上がりの影響、合格者の増加により参加費無料の参加者が増えたことから、予算を超えました。令和7年度もその傾向は続くと考えており、合格者を40名と想定して、一部コストダウンを検討して、予算を作成しました。

決算・予算概要(単位:千円)	R6年度予算	R6年度実績	R7年度予算
会費・寄付金	2,235	2,277	2,589
校友会(合格者お祝い金)	450	990	600
収入合計	2,685	3,267	3,189
総会・祝賀会開催費用	1,874	2,537	2,139
終身会員登録	150	-	150
奨学支援金	350	200	350
その他	633	602	591
支出合計	3,007	3,339	3,230
収支差	△322	△72	△41
前期繰越	3,518	3,518	3,446
未払金	-	-	-
次期繰越	3,196	3,446	3,405

会員研修会報告

事務局より

令和7年1月25日(土)に公認会計士法友会の会員研修会を市ヶ谷キャンパスの富士見坂校舎の教室にて開催しました。講師は、三浦太 会員 で、研修テーマは『スタートアップ・ベンチャーの経営強化のやり方』で、持続的成長のための“次の一手”の考え方を解説してくれました。会員が多数参加していただき、大変充実した研修会となりました。



会費等納入の御礼

令和6年度(2025年3月31日まで)に会費・寄付等を頂いた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

(50音順、敬称略)

飯塚 昇	五十嵐 正明	井口 真宏	石川 亜依	石川 正敏	石出 康子	井上 倫哉	太田 荘一	大野 厚夫
奥 朋	小野 隆良	尾町 雅文	柿沼 幸二	金子 祐大	河西 正之	瓦井 藍	北村 敏雄	君和田 和子
黒田 學	桑原 正信	神田 忠二郎	古田土 満	小林 保弘	齋藤 太郎	酒井 宏暢	坂下 貴之	佐藤 志郎
篠原 可奈	杉本 喜代美	鈴木 和郎	鈴木 一功	鈴木 一宏	高木 淳	高羽 直	高橋 和司	高橋 良輔
高村 茂	竹澤 正人	竹部 直一郎	舘内 宏宣	堤 研一	遠山 景一	富樫 健一	豊島 忠夫	中村 里佳
中山 理恵子	那須 玄	橋爪 宏徳	日浦 正貴	藤田 健吾	藤田 利弘	藤原 明	古川 直磨	發知 敏雄
本間 寛	前田 大輔	松田 葉	矢野 冬也	矢部 豊	山本 成男	山本 義昌		

定期総会に参加いただいた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

(50音順、敬称略)

渥美 龍彦	新井 良明	飯塚 昇	石割 由紀人	井上 倫哉	鶴藤 葉子	太田 荘一	大谷 はるみ	小野 隆良
河西 正之	木下 恵嗣	倉持 直樹	古田土 満	小場 貴之	佐竹 健二	佐藤 康平	高橋 良輔	竹澤 隆国
西浦 正和	韭澤 政男	春山 直輝	福菌 健	三浦 太	森口 輝来	矢部 豊		

合格祝賀会に参加いただいた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

(50音順、敬称略)

渥美 龍彦	新井 良明	飯塚 昇	池田 雅人	石川 正敏	市川 隼	伊藤 章子	伊藤 将也	井上 健太郎
井上 倫哉	鶴飼 颯大	太田 荘一	大野 厚夫	大谷 はるみ	岡本 裕二	小倉 加奈子	越智 一成	小野 隆良
柿沼 幸二	川口 宗夫	河西 正之	岸野 勝	草深 文理	倉持 直樹	古田土 満	小堀 良典	齋藤 太郎
坂下 貴之	佐々木 大佑	佐竹 健二	佐藤 直	鈴木 和郎	鈴木 雄飛	高木 淳	高橋 良輔	瀧本 祐和
竹内 勝利	竹澤 正人	田中 創	田原 聖一朗	堤 研一	富樫 健一	永井 恵太	永田 郷	中村 元紀
那須 玄	西浦 正和	春山 直輝	前田 大輔	牧野 智成	三浦 太	森口 輝来	矢部 豊	山田 努
若杉 七海	和食 克雄							

校友会終身会員所属変更

令和6年度に終身会員に新規登録を頂いた方、年度同期会からの所属変更をいただいた方は、以下の通りです。どうもありがとうございました。(敬称略)

鶴飼颯大	丹沢祐介	山本奈緒	中野優音	中野圭祐	古川桃子	鈴木侃汰	高山大誠
------	------	------	------	------	------	------	------

公認会計士法友会事務局
〒169-0074
東京都新宿区北新宿4-19-15

E-mail: hosei.hoyukai@gmail.com

母校の発展と後進育成への貢献を
目指して活動しています。

3月末現在の会員数 806名

ホームページもご覧下さい。
http://hoyukai.la.coccan.jp/



編集後記

とても暑い日が続いておりますが、みなさん、いかがお過ごしでしょうか。今年の定期総会時の会員研修会、懇親会に、高度会計人育成センター長・経営学部 教授である川島 健司先生をお招きし、特別企画をご用意いたしました。

川島先生は、日本ソムリエ協会認定ワインエキスパートでいらっしゃいます。会員研修会は、「会計専門家のためのワインテイasting:財務分析との共通性」「イタリアワインと複式簿記の起源」という、大変興味深い二つのテーマを軸に展開され、試飲も予定しています。

懇親会は、川島先生がセレクトされたイタリア各地のワインを味わいながら、その土地の文化や歴史、そして会計学との意外な接点について、専門的かつ軽妙な解説をお楽しみいただき、かつ、ワインに合う料理もいただく内容となっております。

残暑厳しき折とは存じますが、皆様にとって実り多きひとときとなりますよう、心よりお待ちしております。

今後のイベント予定(皆さん、ご予約ください)

- ・定期総会、会員研修会、懇親会: 2025年9月1日(月) ポアソナード・タワー26階
- ・合格祝賀会: 2026年1月24日(土) ポアソナード・タワー26階 スカイホール

● 法政士業の会よりお願い

法政大学校友会では、卒業生等が経営している(関係している)お店を「法政オレンジMAP」にて紹介しています。しかし、士業の方の登録がほとんどありません。

ぜひ、登録いただければと思います。下記URLの法政オレンジマップのサイトから店舗情報入力フォームへ進んでください。

<https://hoseinet.or.jp/orangemap/>

令和7年度(令和7年4月1日～令和8年3月31日) 年度会費及び寄付金のご協力のお願い

法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われておりますが、合格祝賀会などの行事開催費、通信費などの運営諸経費、友好他大会士会団体への参加費等の支出、また最近では、法政大学の公認会計士試験現役受験生の合格を支援する「奨学支援金」の原資として経常的な資金が必要であり、会員各位のご理解とご協力なくしては、持続的な活動が出来ません。

最近、会費及び寄付金を納めていただける方が固定化し、また、減少傾向にあります。一方、会員の増加で定期総会や合格祝賀会のご案内にかかる通信費の増大や「奨学支援金」の拡充等も必要となっております。会員の皆様のご理解とご協力を強くお願いする次第です。

今年度(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)会費の納入と寄付金のお願いをさせていただきたく、郵便振替口座振込用紙を同封させていただきました。

毎年の年度会費及び年度寄付金に、いったいいくら納入すればよいのか分からないなどのご意見・質問が寄せられます。法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金の納入で支えられていますが、皆様に大きな負担を感じさせるのは本意ではありません。あくまでも会員の皆様のご厚意にお願いするものであります。

年度会費を納入されていない方につきましては、年度会費の5,000円だけでも結構ですし、年度寄付金・奨学支援金等の寄付金として10,000円(一口)だけを納入していただいても結構です。

もし、ご賛同をいただけるのであれば、年度会費と寄付金を合わせて15,000円を納入していただければ、大変、助かります。振込先を記入した郵便振替口座用紙を同封させていただきましたが、銀行振込をされる場合は下記の口座をお願いいたします。

銀行口座 三菱UFJ銀行 東中野支店(店番152) 普通預金・口座番号 1559256 口座名・公認会計士法友会
 <連絡先> 〒169-0074 東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ
 公認会計士法友会事務局 080-8886-0375 / hosei.hoyukai@gmail.com

Books!



「公認会計士 & 税理士のためのスタートアップ支援税務のススメ」(幻冬舎) / 石割 由紀人 会員(1993年経営学部卒)。スタートアップ支援税務を通じて、専門知識が起業家の挑戦を後押しし、社会を前に進める実感を得られます。公認会計士+αのスキルを身に付けて、新たなキャリアの可能性を、一緒に開いていきましょう!

※現在、書籍の保管場所がないため、受入は中止しています。この場合でも、出版情報は引き続き掲載したいと思っておりますので、お寄せいただけますよう、お願いいたします。その際に、執筆者からの一言(書籍の宣伝でもOK)も併せてお願いいたします。